



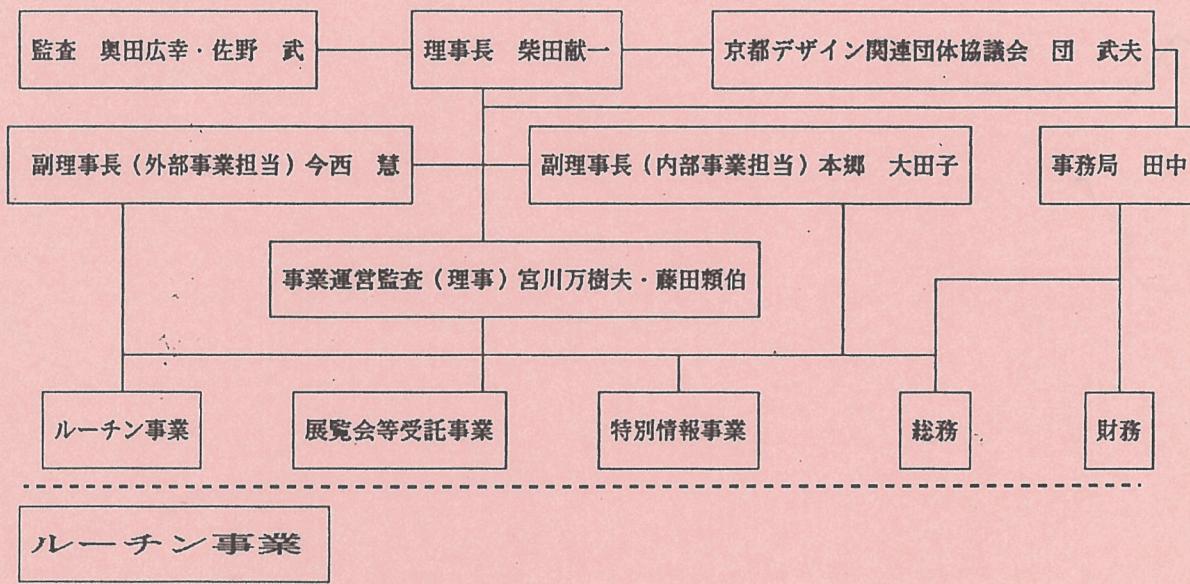
87.9.1号 No.01
発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL 075(541)0239 FAX 075(525)0294

KDA-NEWS

★KDA新委員会・全員参加でスタート★

各委員長指名による、全員参加の新委員会で
いよいよスタートすることになった。

KDA新委員会構成 (S62.7.29理事会決定)



常務理事 田積司朗 相談役（理事） 上田年子

○ 都市美観委員会 委員長 恩地 停 副委員長 真鍋宗平
委員 岡 順一 岡村貞雄 志摩村ひろみ 奈良磐雄

○ サロン 委員長 大木ミヤ子 副委員長 沢井敬子
委員 國本青児 山本唯与志 岡本ヒサシ 平木英介 奥村厚人 小椋輝勝 菅原良介
岡村貞夫 岡 順一 平松堅二 小林郁央 津久田茂實 井上捷之 堀 映祥

○ 会員増強 委員長 伊東吉三 副委員長 植家紀治
委員 岩坂精三 小川富善 東郷 健 今川慶子 千賀伸一
阿部士倖 小埜雅章 越本正幸

○ 交流ゼミナール 委員長 岡本百合 副委員長 井澤保夫 委員 藤原銀次郎 田中文子

展覧会等受託事業

常務理事 久谷政樹 相談役（理事） 南澤 弘

京都デザイン会議 委員長 鈴鹿芳康 副委員長 蝶天成雄 委員 みねゆうこ 笹島美和 伊部京子

京都デザインコンペ 委員長 真鍋宗平 副委員長 伊勢信子

会員展 委員長 黒竹節人 副委員長 六渡 満 委員 長谷川康男

ファッション市民大学 委員長 山本竜一 副委員長 木村紀久雄
委員 鈴鹿芳康 村上欣美枝 東郷 健 園部正晴 寺谷 玲

各種講習会 委員長 中村隆一 副委員長 中塚 勝 委員 粟辻真圭

特別情報事業

常務理事 嶋 高宏 相談役（理事） 阿部コウイチ

KDAニュース 委員長 奈良磐雄 副委員長 若林義明 委員 中川栄一 園部正晴 二村春臣

広報 委員長 森野純亘 副委員長 安田英夫 委員 岩坂精三 東谷武史

会員カード 委員長 植家紀治 副委員長 木村紀久雄 委員 谷口啓司 平松堅二

チャリティー 委員長 西村好雄 副委員長 松本司頌
委員 石田幸次 上原公代 宇野文夫 横仲 進 若林温子

総務

総務（常務理事） 熊谷 實

資料・表彰式・役員会 委員長 松原醇子 副委員長 東郷 健 委員 寒河江義弘

財務

財務（理事） 尾崎 要

経理 委員長 日比昭彦

各委員会の事業計画

ルーチン事業部

都市美観委員会

「京都・都市美観」についての研究会メンバーは全体で24名の登録があり、その中の6名をコア委員として研究を進めている。

年間作業計画

62年

- 5月 イメージ認識、第1次資料・情報収集
基本概念抽出
- 8月 仮説案（タタキ台）作成
- 9月 研究会メンバー（or会員全体）への
経過報告会開催
- 10月 仮説案修正、補強、調整今年度第1次
構想試案作成開始

63年

- 2月 第1次構想試案まとめ完了（プレゼン
テーションツール化）
- 3月 事業年次報告会へ発表

サロン委員会

KDA会員相互の親睦を目的として開かれるKDAサロンも、毎回趣向を凝らした内容で多くの参加者を待っている。

年間計画

62年

- 5月 「ワインの会」
- 7月 「夏の夜嘶」シナリオ界の名匠、
依田義賢先生を囲んで
担当 國本青児・山本唯与志
- 9月 「京都・都市美観について」研究会中
間発表
担当 岡本ヒサシ・平木英介

- | | |
|-----|--|
| 10月 | 「デザインの現場を訪ねて」デザイナーなんでもトークとセミナー 担当 奥村厚人・小椋輝勝 |
| 11月 | 「オークション」マリーローランサン “椿姫” 担当 菅原良介・岡村貞夫 |
| 63年 | |
| 1月 | 「新年会 全員集合 1988」日本 各地の地酒を持寄っての利き酒会 担当 岡順一 平松堅二 小林郁央 |
| 3月 | 「風流にチャレンジ」野外パーティー 野だてと句会 担当 津久田茂實 井上捷之 |

会員増強委員会

より多くの会員を獲得し、KDAそのものをパワーアップするため、会員増強委員が中心となり全会員の協力を得て増員目標16名以上を達成するよう努力する。

現在の会員数は94名で、KDA創立以来昭和52年の112名を最高に下降、再増員の経過をたどってきた。賛助会員制度を設け会員数は増えてはいるものの、個人会員を増やし過去最高の会員数を目指したい。

目標達成のための活動内容

1. 全会員に現会員の状況把握と再認識を深めて戴くため、下記資料を配布し併せて協力を願う。
 - ・年齢別、ジャンル別名簿。
 - ・KDA会員数の推移一覧表。
 - ・新会員推薦者リスト用紙。
2. KDAサロンとの連携

その他、いい案があればご提案お待ちしています。

* K D A の活動が活発であり、会員になってメリットが多いと実感できる組織でなければ会員勧誘もやりにくい。そのためにも会員各位が、各委員会を核とした様々な事業に積極的に参加協力されることが不可欠であろう。

○賛助会員増強方法についても目下検討中。

交流ゼミナール委員会

岡本百合委員長は、賛助会員と会員の交流活性を目指した委員会なので、まず親しみをもっていただくためにも、愛称として『松の実会』としてはどうかと提案している。

内容に関しては、年4回ぐらいのセミナーとかお食事会を計画中のことである。賛助会員にたいしての取り組みを初心に戻り早急に練り直す必要がある。

展覧会等受託事業部

京都デザイン会議委員会

K D A は、年に1度京都のデザイン関連団体で組織されている京デ協が主催する京都デザイン会議の幹事団体になるので、他団体と連絡を取りながらコンセプト作りをする。

京都デザインコンペ委員会

今年で第26回を数える『京都デザインコンペ '87』(募集要項はK D A 会員には郵送済みです)の開催運営協力を仕事とする。特に出品点数をふやす方法を考える事と、展示会場設営のプランニングが目下の課題。

第26回が終了後、今後のコンペのありかたについて抜本的な見直しをする計画がある。

会員展委員会

本年度の会員展企画は、すでにお知らせしているように、各種講習会委員会との協同企画による、京都工芸土産品組合とのジョイント製作に決定した。メーカーである工芸土産品組合22社の技術提供と、K D A 会員のアイデア・デザインが一体となって、どんなに素晴らしい新製品がクリエイトされるか、作品展示は『京都デザインコンペ '87』の会場にて。

日程

| | |
|----------|--------------------------|
| 8月27日(木) | 趣味工芸組合+K D A会員 第1回打合せ |
| | 18:00~ |
| | 京都市伝統産業会館2F |
| | 第3研修室 |
| 9月末 | デザイン提出及びメーカー 打合せ |
| | メーカー製作期間 |
| 10月末 | 試作品完成 |
| | 作品手直し期間 |
| 11月25日 | デザイン展出品 |

ファッション市民大学委員会

京都市と京都商工会議所主催の、京都ファッション市民大学の企画立案を協力する。

本年度の計画 (案)

| | |
|-------|--|
| 開催日時 | 1988年 2月11日(木) 12(金) 13(土) 13:30~16:00 |
| 会 場 | 京都ルネッサンスホール |
| タ イ プ | “世紀末にむかって” |
| 講 師 | 横尾忠則(アーチスト) ツトム ヤマシタ(音学家) 唐 十郎(演出家) 谷口正和(ジャパンライフデザイ |

ン代表)

野坂昭如（作家）

*以上5名の中から3名選出

山本竜一委員長より以上の計画案並びに、京都ファッション市民大学の名称を、京都創造市民講座に改名してはどうかと言う意見が出されている。今後、前回まで担当していただいている今西副理事長とも相談しながら煮詰めていくことになる。

各種講習会委員会

KDA会員・賛助会員のパーソナリティーを生かし、各種講習会を企画開催しデザインの啓蒙につとめる。

受託収益事業もこの範疇に含め活発な活動展開を計る。

具体的に決まっている事業は、会員展委員会との協同企画による、お土産物=KYOUTOグッズの製作、プレゼンテーションがある。

特別情報事業部

KDAニュース委員会

KDAの会員・賛助会員にKDAの最新情報を伝える。

月例の常務理事会に出席し、各事業部よりの情報を取材すると共に、内外情報について、各ジャンル別、全会員より積極的な情報提供を求める。

KDAニュース発行予定

原則として月1回とし、年度末にはダイジェスト版発行の予定。

広報委員会

KDAの活動状況を外部関係先に広報し、社会的認識を高める。併せてKDA（会員）の活性化に寄与する。

対象とする外部関係機関・団体 及び賛助会員は 別にリストアップする。

情報収集は、KDA常務理事会への出席取材、KDA各事業活動の状況把握、内外情報について 各ジャンル別 全会員により積極的な情報提供の協力を求ることによる。

リリースの発行予定

年3回を予定

1. 9月又は10月
2. 12月又は 1月
3. 3月

会員カード委員会

会員同志のコミュニケーションをスムーズに行えるように、また、対外的にもどの様な職能の会員の集まりなのかをアピールするためのツールとして利用出来るよう制作する。

まず手初めに、会員の顔と名前と専門が判るようにと言った目標で制作を開始しており、KDAサロン出席者の顔写真取材が進行中。

チャリティー委員会

KDAの組織を挙げて外部に向けてのアピールをチャリティーという方法を用いて行う。

★KDA NEWSに内外情報を★

'87国際テキスタイルデザインフェアについて

柴田理事長より

'87国際テキスタイルデザインフェアも、来る11月6日オープンまで、あと2カ月となりました。この催事の目玉となります国際コンペも、既に第1次審査を終え、世界38カ国1,332点の応募作品から146点(約20カ

国)の入選が決定しており、今から、素晴らしい展覧会が期待されています。

このフェア見学の推進は、KDAのデザイン運動の主旨を広げる大切な仕事であることと、理事会一同の賛同を得て、前売り券販売に御協力いただきますようお願い致します。

KDA会員展

"THE KYOTO GOODS"

第1回 打ち合わせ会

会員展委員会の事業報告ですでお知らせしてあるスケジュールの通り、去る8月27日(木)午後6時より、京都市伝統産業会館2F 第3研修室において、本年度会員展のため、KDA会員と京都工芸土産品組合の組合員の方々との、第1回打ち合わせ会が開かれた。

仲人役の京都市伝統産業課 西口課長、柴田献一 KDA理事長の「地場産業発展のためにデザイナーの集団であるKDAとメーカーが共同で新しいKYOTO GOODSを作る機会が持てました、両者が精一杯取り組みたいものです」といった挨拶に続いて、田中良一 京都工芸土産品組合理事長が「この様な企画は我々メーカーにとって大変良い刺激になるので、KDA会員の皆様とコミュニケーション

ーションを取りながらいい作品を作ることができれば幸いです」とむすばれた。

その後引き続いて、メーカーの方々に持参戴いた代表的な商品を見ながら会員個々が質問等をし、それに答えていただくといった方法で知識を得た。

具体的に、会員の誰がどのメーカーと組んでモノ作りを始めるかまで詰められれば良かったが、時間の関係もあり、具体的な取り組み方法については、組合理事の方と会員展委員会のメンバーが後日早急に取り決め、KDA会員に連絡することになった。

新入会員御紹介

堺 映祥 [Sakai Eisho] 氏

S. 20.7.20生れ
テキスタイルデザイナー
京都市左京区静市市原町910-54
〒601-11 ☎ 075 (721) 8528
推薦者 本郷大田子 熊谷 實

会員の皆様よろしくお願い致します。



● 1987. 10. 15号 No.01
● 発行 (社) 京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
● 事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 TEL 075(541)0239 FAX 075(525)0294

KDA-NEWS

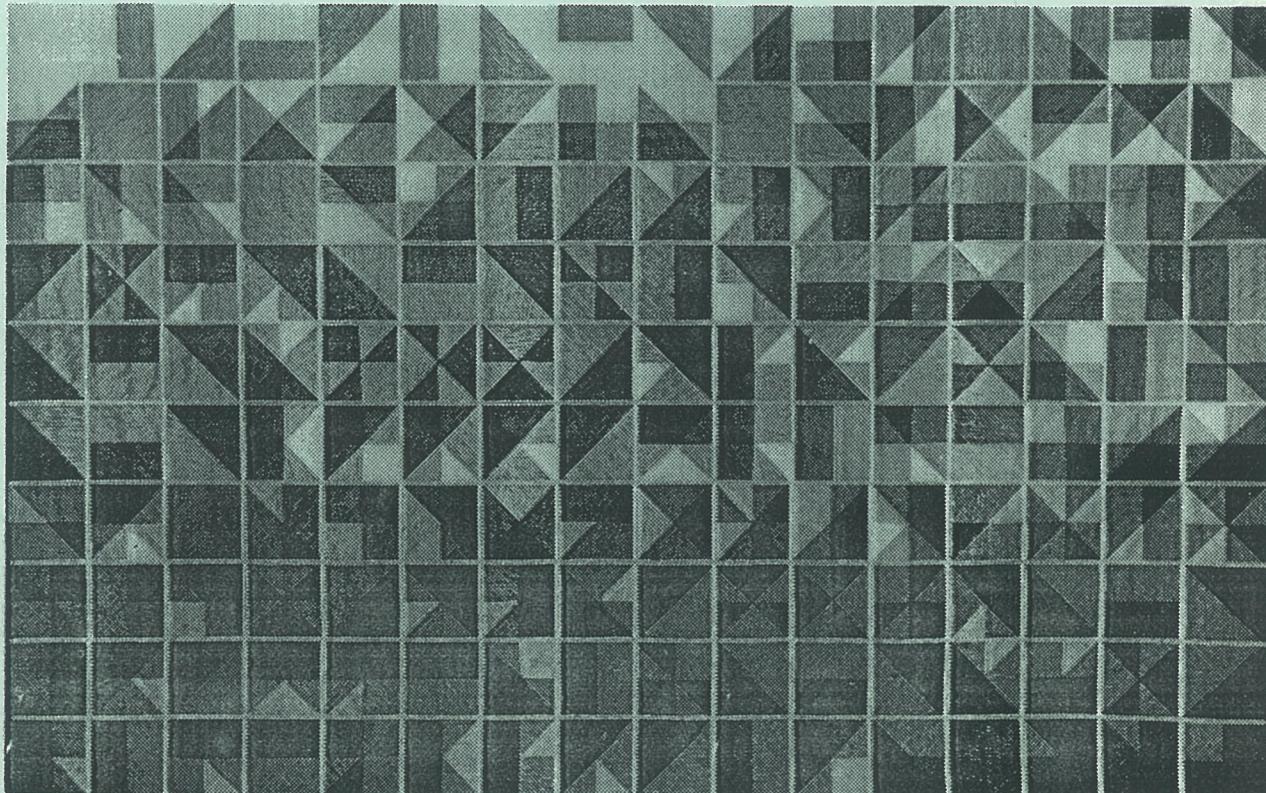
特集

INTERNATIONAL
TEXTILE FAIR'87
KYOTO

'87国際テキスタイルデザインフェア・世界織物会議

国際テキスタイルコンペティション'87京都 の受賞作品決まる

ITF大賞 ITF Grand Prix



『256/8の試み』 3.55×3.55 (m) 部分

[審査員評]

タテ16、ヨコ16に分割した256の正方形の升目に、8種類のパターンを組み合わせて表現した2次元の作品。テント地に近い木綿の生なりに黒糸でミシンをかけて256の

Emilia Bohdziewicz
エミリア
ボッツィエヴィチ
1941年生れ
ポーランド

パターンを表現した、素材も技法も大変シンプルな作品でありますが、仕事に掛かるまでの緻密な準備や、日常的な物の見方、考え方
が十分伝わって来るもので、20世紀の代表的な作品として誇れるものです。



ITF優賞 ITF Excellence Award

『LANDSCAPE WALL』

草間桔桔雄 [Tetsuo Kusama]
1946年生れ 日本(京都)

『RELIEF I』

Jolanta RUDZKA-HABISIAK
[ヨランタ ルーツカ ハビシアック]
1958年生れ ポーランド

ITF佳賞 ITF Outstanding Award

『Surface of the Lake 1987』

吉田晃良 [Teruyoshi Yoshida]
日本(京都)

『KITE-N02 '87』

小林正和 [Masakazu Kobayashi]
1944年生れ 日本(京都)

● ITF産業賞

『7²』

浅野裕尚 [Hirotaka Asano]
1955年生れ 日本(京都)

● ITF芸術賞

『Our bones are made of stardust』

Carol Shaw-Sutton
[キャロル ショーサトン]
1948年生れ アメリカ

● ITF企画賞

『CAROUSEL』

Michael BRENNAND-WOOD
[マイケル ブレナンド ウッド]
1952年生れ イギリス

● ITF新技術賞

『タペストリー』
熊井恭子 [Kyoko Kumai]
日本(京都)

● ITF伝統技術賞

『GET OUT OF MY HOUSE』
D. R. WAGNER

[ディー アール ワグナー]
アメリカ

● (特別賞) IWSウール賞

『GRACES IV』
ANDRZEJ RAJCH
[アンドレッヂ ライチ]
ポーランド

国際テキスタイルコンペティション'87

京都には、1332点(国内447 海外885)の応募があり、7月に行われた第一次審査は作品スライド審査で、入選作品146点(国内40 海外106)が選ばれた。今回行われた審査は、10月3日から5日までの3日間を費やし、現物作品138点(国内39 海外99)の中から上記の入賞作品11点が選び出された。審査長バーナード・ケスター氏(カリфорニア大学ロサンゼルス校教授)は5日の審査終了直後の記者会見で「審査は、7名の審査員が十分に作品を見て周り、それぞれの作品の長所について語り合い、まず24の作品を選び、さらに話し合いを深めながら最後の11点を選んだ。大変幅の広いカテゴリーの作品が集まっており、2次元、3次元の世界の作品がそれぞれに発言をしており、可能な限り様々な種類の作品を選んだ。入賞、入選作品は一堂に、11月6日から12日までの7日間展示公開されるわけですが、世界中の多くの作家、デザイナー、職人、一般の人々が注目している展覧会にしては会期が短くて残念です。出来るだけ多くの人に見てもらいたい」と語った。

また、ITF '87 KYOTOの総合アドバイザー吉田光邦氏（京都大学名誉教授）は審査員の苦労を労うと共に、「今テキスタイルの世界もターニングポイントにある。昔から2次元の布を遊牧民たちがテントという形で3次元的に利用してきたわけですが、機械生産による2次元の物と、ハンドクラフトによる3次元の物が混ざり合い、また新しい世界が生まれようとしています。今回の審査では、色々な分野から選んで貰えて良かった」と結んだ。

'87国際テキスタイルデザインフェア

[会期] 昭和62年11月6日(金)～
 11月12日(木)
 午前10時～午後5時
 (12日は午後3時まで)

[会場Ⅰ] 国立京都国際会館イベントホール
 (京都市左京区宝ヶ池)

- 国際テキスタイルコンペティション'87
 京都 展
- ワールドテキスタイル工房(デザインパ
 イロット'88・ワールドジョイント展)
- 21世紀・スーパーファイバー
- 世界の染織産地展
- ITF広場(実演&バザール)
- その他

[会場Ⅱ] 京都府立総合資料館
 (京都市左京区下鴨半木町)

- 京都テキスタイルコレクション展
 —日本染織の流れ—

世界織物会議

[会期] 昭和62年11月6日(金)～
 11月8日(日)
[会場] 国立京都国際会館大会議場ほか

関連イベント

★現代・織の表現展

[会期] 昭和62年11月上旬
[会場] 川島織物ギャラリー

★'87図案博

——アラウンド・ザ・ワールド——
[会期] 昭和62年11月9日～13日
[会場] 日本国デザイン博物館

★織のハート展

[会期] 昭和62年11月6日～12日
[会場] 京都クラフトセンター・イベントギ
 ャラリー

◎世界歴史都市博

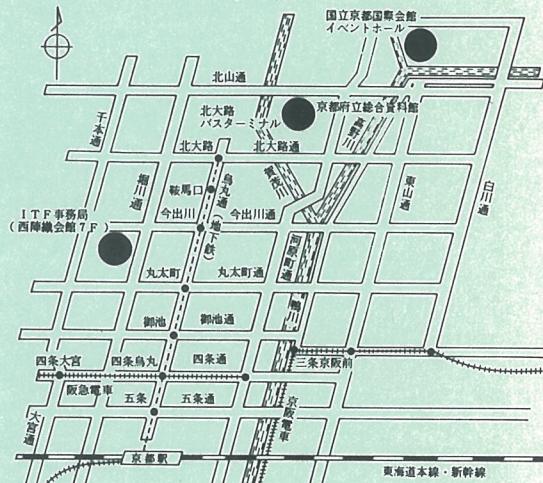
[会期] 昭和62年11月8日～29日
[会場] 京都府総合見本市会館

◎ヨーロッパのレース展

ブリュセル王立博物館所蔵
[会期] 昭和62年10月20日～
 12月6日

[会場] 京都国立近代美術館

会場位置



問い合わせ・連絡先

〒602 京都市上京区堀川通今出川南入る
 西陣織会館内
 ITF事務局
 TEL 075(451)0033

KDA サロン



10月 KDAサロン例会が10月2日（金）午後5時30分から8時30分までレトロ感覚溢れるバー・フランボアで、大木ミヤ子サロン委員長、岡本ヒサシ、平木英介委員の呼び掛けで開催された。

今回の出し物は大変マジな内容で、恩地惇委員長率いる「KDA都市美観研究会」の研究成果“前衛も歴史だ”の中間発表が行われた。恩地委員長の名調子で大変わかりやすく重要な内容、提案が説明された。説明用のパネルが用意されていたので一部紹介しておきたい。なお、このサロン出席メンバーからも貴重な提案をいただいたので、今期後半の研究会で、それらの意見も尊重しながらまとめに入り、年度末には報告書として出版したい意向である。



KDAサロンはふれあいサロン

“前衛も歴史だ！”

KDA都市美観研究会からのメッセージ

都市機能なきところ
景観なし

21C. 日本に「文化」が
必要になる

21C. 京都は「文化」の
「総本山」になるしかない

「文化」は歴史観で
つくられる

歴史観は古典と
前衛でつくられる

以下省略



お客様を誘って参加しましょう

第6回理事会より

[開催日時] 昭和62年10月1日(木)

午後6時~7時30分

[開催場所] KDA・Cルーム

柴田献一理事長は、「87京阪神ファッショングランプリ・シンポジウムから急いで戻り、冒頭の挨拶で「いよいよ昭和62年度後半に入り、各種委員会の計画している事業も軌道に乗り始めました。KDAの発展は各種委員会の活発な行動にかかっていますので、皆で力を出し合い頑張って行きたい」と述べた。

■ 展覧会等受託事業部(久谷政樹常務理事)内の会員展委員会(黒竹節人委員長)が中心になって進めている「87年度会員展の進行状況説明があった。パートⅠ【扇面デザイン】は、既に表現してもらう材料を会員全員に送っており、10月15日までにKDA事務局に届けてもらうことになっている。扇の形に仕立てるかどうかは、展示効果を考慮して今後詰めていく。パートⅡ【京都工芸土産品組合とのジョイントによるKYOTO GOOODS】は、会員とメーカーの組み合わせが決まり、今後それぞれの間で話し合いながら進めていくことになっている。予定より遅れてきているので話し合いが急がれる。

■ ルーチン事業部(田積司朗常務理事)内の会員増強委員会(伊東吉三委員長)、交流ゼミナール委員会(岡本百合委員長)より会員増強に関する報告があった。現在のところこれと言った成果は未だないが、日常的な勧誘努力、特にサロンにゲストとして招く努力を会員全員にお願いしたい。本年度の増員目標は16名以上なので今後とも頑張りたい。

■ 財務(尾崎要理事)より「87年度上半期の会計報告があった。全体的に順調にいっている。KDA年会費未納の会員の方はよろしく。あわせて「京都デザインコンペ」への出品料がKDAに入るので、出品の促進をお願いしたい。

■ 一般報告として各種案内、送付物の紹介があった。全国各地のデザイン関連団体、個人から情報が集まっている。「情報は生モノですので早いうちにKDA Cルームにて御賞味下さい」

「秋に向けて盛り沢山な関連イベントが開催されますが、協力のほうよろしくお願いします」との理事長の言葉でしめくくられた。

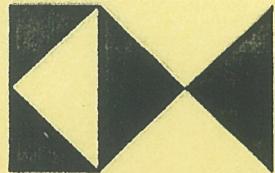
ALHAMBRA MIYAKO OHKI ORIGINAL DRESS SHOW

KDAサロン委員長 大木ミヤ子ガ、総合プロデューサー・デザイナー トシテ

世界歴史都市博特別イベントニ体当タリ。コレハ見逃スワケニハイカナイ

- 1987年11月27日(金)
- PM4:00~5:00 PM7:00~8:00
- 3,000円(世界歴史都市博入場料含む)
- 京都府総合見本市会館(パルスプラザ)WHICシアター
- お問い合わせ=アルハンブラ・グループ京都事務所 ☎ 075(491)8916





● 1987. 11. 25号 No.01
● 発行 (社) 京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
● 事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL 075(541)0239 FAX 075(525)0294

KDA-NEWS

第7回理事会 委員長会より

〔日時〕 昭和62年11月18日（水）
午後5時30分～8時

〔場所〕 KDA会議室

〔参加理事・委員長〕 22名

■理事会■

柴田献一理事長は開会の挨拶で「このところ京都の町では、大きなイベントが目白押しにあり、出来るだけ顔を出すようにしているので大変忙しくしています。ITF及び世界織物会議はKDA会員の皆様の御協力のお陰もあり大盛況のうちに幕を下ろしました。

ITFの方はチケットも完売で8万人の入場者があり、会議のほうには800人の参加者がありました。また、関連イベントにも力が入っており大変充実していました。会期が短いと言う不満の声も聞かれたほどです。

世界歴史都市博・会議もスタートし、こちらのイベントにもKDA会員の何人かが具体的に協力しています。多くの歴史都市の市長が参加する会議は、意義深いものになりそうです。

先日開かれた大阪のデザイン会議には、KDA理事が10名参加しました。

また11月16日には、11月26日から開催される『京都デザインコンペ'87』の作品審査が日図デザイン博物館で行われ、K

DA会員の多くが審査員として参加し、入賞、入選作品が決まりました。

最後になりましたが、既に新聞で報道されております通り、KDA特別会員の藤川延子先生が京都新聞社が選ぶ、京都新聞五大賞の『京都教育賞』を受賞されました。誠におめでたいことであり、KDAを代表して祝電を打っておきました。これからも年末にかけていろいろとお忙しいでしょうが、KDA会員が関わっているイベントには出来るだけ参加し、励ましてあげてほしいものです」とのべ、議案審議に移った。

■『京都デザインコンペ'87』の入賞・入選作品の展覧会と併設して行われるKDA会員展の準備状況について、久谷担当理事より報告とお願いがあった。

パートI【扇面デザイン展】は、現在37名の会員より作品が集まっている。展示は扇の形に仕立ててと考えていたが、表現手法が多様で、仕立てる工程で水を含ませなければならず、作品がだいなしになる恐れがあるため、提出戴いたままの姿で額装し、展示することにした。額装と展示に関しては会員展委員会（黒竹委員長）にお願いする。

パートII【京都工芸土産品組合とKDA会員とのジョイントによるKYOTO GOO DS展】は、初めての試みでもあり、組合加盟店とKDA会員とのコミュニケーションがなかなか思うようにいかなかったりで、現在10社程が作品化に向けて進行中と聞いている。最終チェックは、11月20日（金）午後6時より日図デザイン博物館で、京都市伝統産業課の方も立合で行う予定。仲介の労を取

っていただいた京都市伝統産業課の西口課長も、出品数は少なくとも作品化出来たものもあるので感謝しておられる。

*商品化される場合は、デザインの権利はデザイナーにあるので、組合員の方と当事者どうし話し合いで進めることになっている。

■ 大木ミヤ子KDAサロン委員長より12月、1月のサロン開催計画について報告があった。11月サロンで予定していたマリー・ローランサンの作品オークションは12月上旬に開催を予定している。1月のサロンは新年会とし、新しいプランが提案されないかぎり、毎年恒例の東山荘で開催する予定。内容、場所に関してアイデアがあれば提案していただきたい。

■ 賛助会員の糊紙屋院より退会願いが提出された。諸事情がありやむをえないと判断し受理することになった。

■ 一般報告として各種委員会の委員長あるいは代理委員より委員会活動の現況報告があった。

★ [都市美観研究委員会：恩地委員長]

10月2日KDAサロンで研究成果の骨子をプレゼンテーションし、話し手と聞き手双方にアルコールが入ったせいもあり大変スマーズに進行し大成功であった。今後の進めかたとしては、さらに研究を進め年度末に報告書の形でまとめる予定であったが、来春開催される『京都デザイン会議』のテーマに取り込んで頂き、その場を借りて大々的にプレゼンテーション出来れば報告内容もオフィシャルなものになるので、その方向に向かうよう強力に働き掛けていきたい。

★ [KDAサロン：大木委員長]

年度計画では、サロンの開催を2か月に1度としていた。少しづれ込んではいるが予定の回数はクリヤーして来られた。1月に予定している新年会には全会員が参加し、盛大な会に盛り上げてほしい。

★ [会員カード委員会：樽家委員長]

サロンに参加していただいた会員の顔写真を収集しているが、顔ぶれがほとんど同じなので進まない。個人情報を記入してもらう用紙を送り、顔と名前と専門職がせめてわかるカードを年度内に作成したい。

(制作費に関しては市のほうで援助してもよいという話がある 久谷常務理事)

★ [会員増強委員会：樽家副委員長]

現在のところ新規加入の申し込みはない。伊東委員長と相談して本年度増員目標の16名を達成できるよう頑張ると共に、皆さんの協力を是非ともいただきたい。

★ [交流ゼミナール委員会：岡本委員長]

賛助会員との交流を密にするための委員会でありながら、今まで何もできていなくて大変申し訳ない。ようやく企画案が出来たので検討戴きたい。

・KDA松の実会（まづのみなかい）は賛助会員との交流を基本として年4回の会合を持つ。

・会合の日時は、そのシーズンに合わせ、月

K U R O C H I K U

郷音奏

世界歴史都市博ファイナルイベント

11月28日 午後7時より

京都府総合見本市会館

稻盛ホール

伝統芸能の新境地を切開く琵琶能へ挑戦

会員展委員長 黒竹節人 企画開催

の第3金曜日とする。ただし、その当日が祝日と重なる場合は、第4金曜日とする。

- ・時間は冬期で18時～20時、夏期で18時30分～20時30分とする。
- ・冬の松の実会（1月第3金曜日）
- 春の松の実会（4月第3金曜日）
- 夏の松の実会（7月第3金曜日）
- 秋の松の実会（10月第3金曜日）
- ・会合の参加者はKDA賛助会員とKDA会員とする。
- ・会費は実費及び一部KDA会計よりの援助金で賄う。
- ・会合には色を添えるため、賛助会員または理事の中より特に選んだ者一名の講演（約20分程度）を組み入れる。
- ・講演は時代のニーズに合ったテーマを希望し、特に講師料は入れず小さなプレゼントを謝礼とする。
- ・第1回会合日の63年1月15日は祝日のため1月22日（金）とする。
- ・第1回会合は万養軒を第一候補とする。
- ・第1回会費は7千円とし、テーブル式とする。

計画を進める準備を委員会でしてもらうことになった。

★ [京都デザイン会議委員会：鈴鹿委員長]
京デ協が主催するもので、KDAはその一団体としてあり、全体会議が開かれていないので久谷専務理事の指示待ちと言ったところ。
この件に関して柴田理事長より考えが発表された。京デ協メンバー団体の多くの責任者がKDA会員であるので、必然的にKDAが幹事団体となる。『第8回京都デザイン会議』の委員会発足会を12月中に開催する予定があるので、事前にKDA案を作成しておきたい。今年は『国際居住年』に当たっており国連加盟国はこの問題を取り組む事になっている。我がKDAもそれにちなんだテーマを提案してはどうかと考えている。国を上げての

取り組みになるので京都市としても積極的に支援してくれるであろうし、そこでの発言はオフィシャルな議事録として広く行き渡る可能性が大である

★ [京都デザインコンペ委員会：真鍋委員長]

作品審査も11月16日無事終了した。展覧会は11月26日（木）～29日（日）に日図デザイン博物館で開催される。KDA会員の皆さんに当番を割当させて頂いたので当番日の指定の時間には必ず会場の方に詰めて頂きたい。当番日に都合の悪い方は会員同志で話し合いの上交替する。（当番日と時間は既に連絡済み）

★ [会員展委員会：黒竹委員長]

久谷担当理事の報告にあった通り。扇の形に仕立ててほしい方は実費（1000円まで）でやって貰えるので事務局まで申し出て下さい。

★ [ファッション市民大学委員会：山本委員長]

自由に企画立案して企画書を提出したが、相手のあることなので考えていたようには進まなかった。久谷担当理事や前回までの今西担当理事とコミュニケーションを密にとりながらKDAとして委託されている業務を遂行していくたい。

★ [各種講習会委員会：中村委員長]

今までのところ具体的な動きはない。今後必要があれば担当部署と協議をし具体化させていく。

★ [KDAニュース委員会：奈良委員長]

KDAの動きをKDA会員に速やかに伝達していくのが先ず大切と考え、少なくとも1ヶ月に1度発行している。まだまだ内容に関して膨らましていく必要があると思われるが、意見や情報をどしどし寄せいただきたい。委員長独断でやっているので委員の皆さんすいません。

★ [広報委員会：森野委員長]

安田委員長が東京へ転勤され、その後を引き受けたが、具体的な活動は未だ出来ていない。KDAの情報を外へ向けて発信していく仕事を早急に始めなければと考えている。

★〔チャリティー委員会：西村委員長〕

今まで具体的な活動はしていない。鳴担当理事と相談して、KDAをPRするような内容を考えていきたい。

★〔資料・表彰・役員委員会：寒河江委員〕

委員会が開かれ、25周年に向けて『K D

A史』を編纂することになり資料収集から始めるうことになった。活動記録が取って無かったり、資料が散逸したりしているので収集保存に勤める必要がある。

★〔経理：日比委員長〕

忙しくなると、尾崎理事から聞いているが未だ経験していないので判らない。これから毎月会合を持ってしっかりやっていきたい。会員増強をよろしく願います。

英国デザインのオピニオン・リーダーRCA

ニュー
ブリティッシュ
デザイン展

87年11月24日(火)～

12月11日(金)(日曜日休館)

午前9時～午後5時 入場無料

京都芸術短期大学

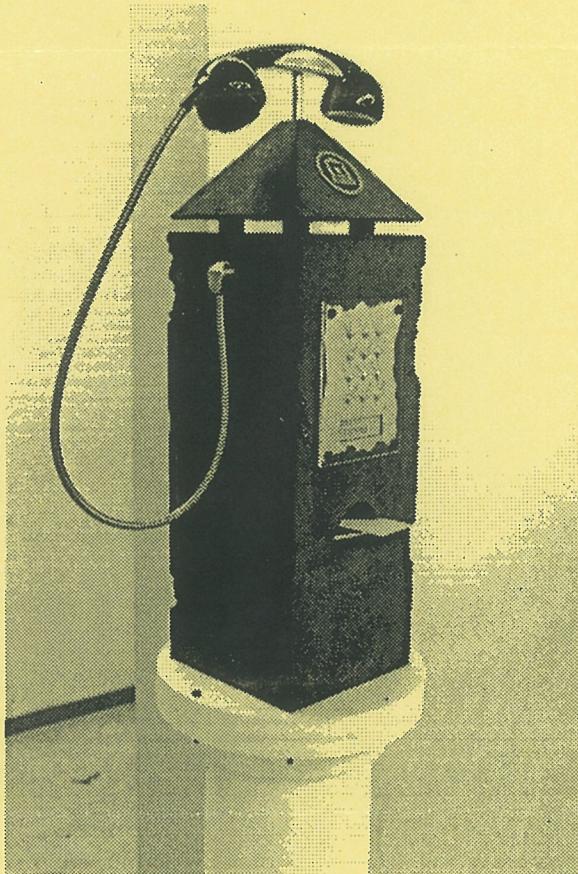
ギャラリー楽<RAKU>

京都市左京区北白川瓜生山2-116

☎(791) 9121

創立150周年を迎えた、ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アート(英国王立芸術大学)を近年に卒業した若手デザイナー(家具デザイン、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、セラミックス、、テキスタイル、などのデザイナー約70名)による卒業制作作品を展示。

RCAの名で知られるロイヤル・カレッジ・オブ・アートはファイン・アート、クラフト、インダストリアル・デザインなどの諸分野を総合的に教授、研究する大学院大学として世界のアートとデザインに多大な影響力を持ってきた。デビット・ホックニーやヘンリー・ムーアをはじめ多くの著名なアーチストあるいはデザイナーがRCAから誕生している。



主催：(社)国際芸術文化振興会

デザイン・アナリシス・インターナショナル

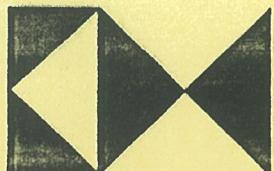
京都京都芸術短期大学

後援：京都府 京都市 英国文化センター

京都新聞社 N H K 京都放送局

K B S 京都 (社) 京都デザイン協会

— E N D —



● 1987.12.25号 No.01

●発行 (社)京都デザイン協会

●事務局 京都市東山区祇園町北側

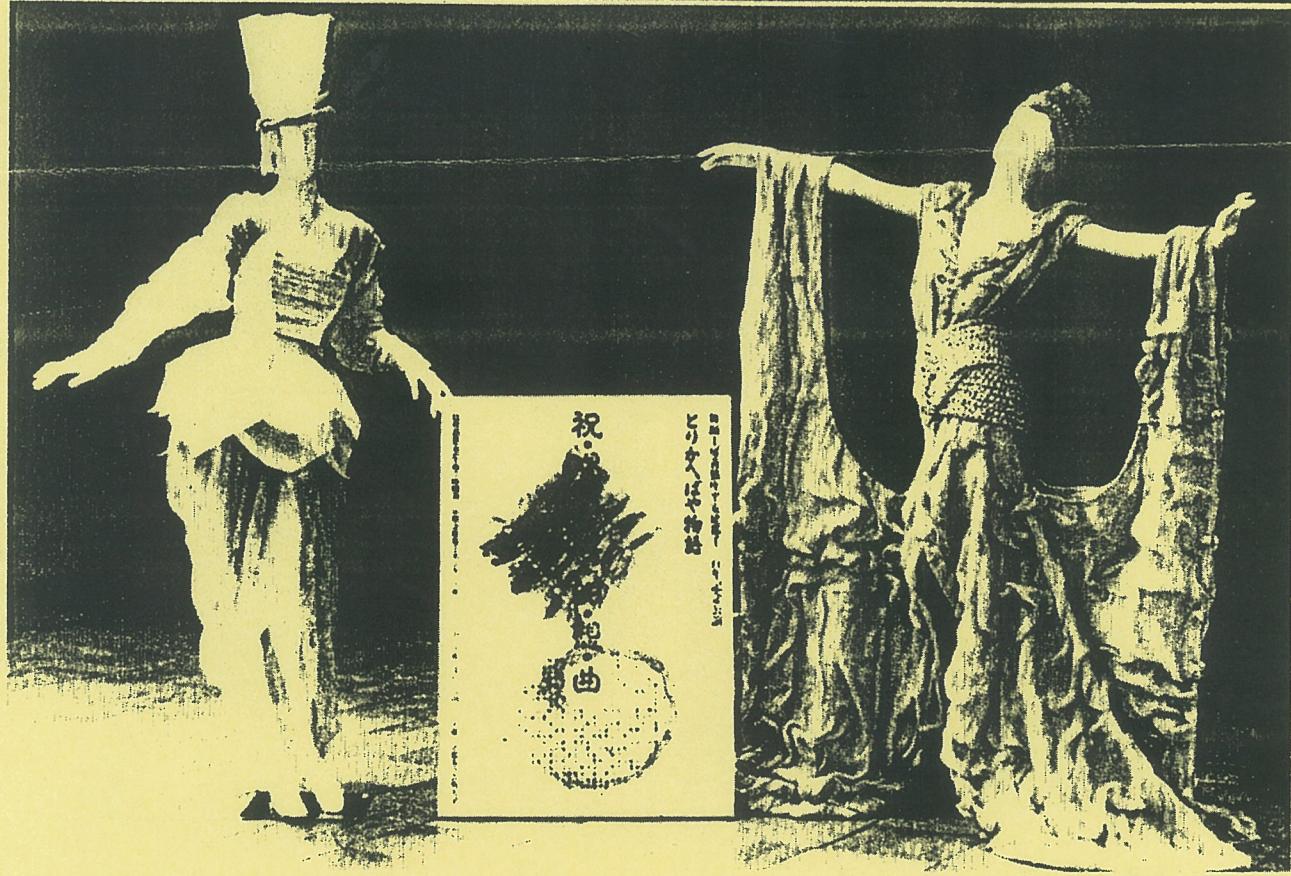
TEL 075(541)0239

KDA-NEWS委員会

ABL3階 〒605

FAX 075(525)0294

KDA-NEWS



グランプリ（市長賞）滝口 洋子

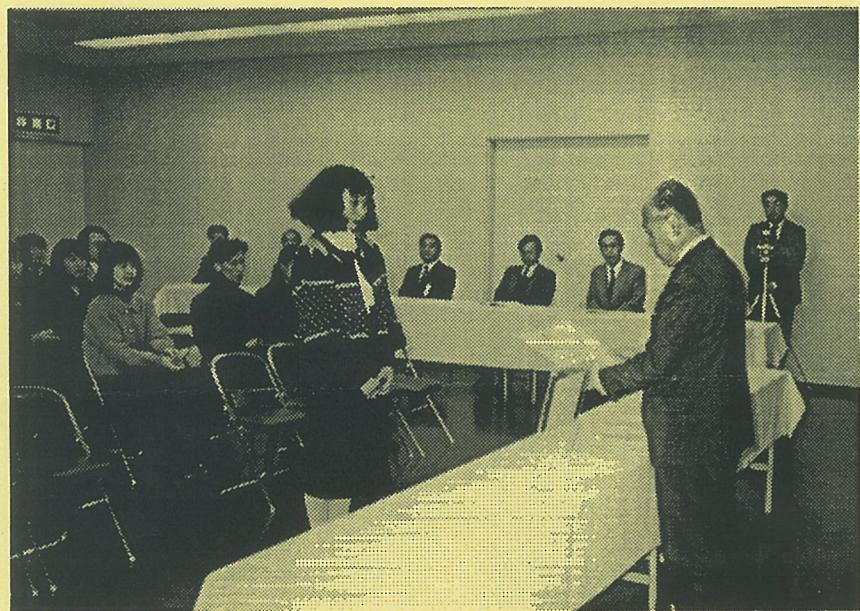
● 第26回京都デザインコンペ '87 - KDA会員展同時開催 -

京都市・（社）京都デザイン協会・（財）平安建都1200年記念協会が共催で、第26回京都デザインコンペ'87『今日から、あすへー。そして建都1200年から21世紀へー。THE KYOTO』のテーマで作品を公募した。今回のコンペには260点の作品応募があり、その中から23点の入賞作品と104点の入選作品が選ばれ、入賞、入選作品の展覧会が11月26日（木）から29日（日）までの4日間、日図デザイン博物館で開催され多くの入場者があった。

26日（木）午前9時30分よりオープンに先駆け会場横の会議室において柴田理事長

はじめ関係者一同が集まり、入賞者の表彰式を行い、続いてテープカットで展覧会がスタートした。

また、この展覧会場の一部を使って我がKDAの会員展も同時開催された。今回の会員展は、パートI【扇面デザイン展】とパートII【京都工芸土産品組合とKDA会員とのジョイントによるKYOTO GOODS展】の二本立てボリュームがあった。組合とのジョイント企画は今回初めて京都市伝統産業課の仲立ちで実現されたものであり、この様な試みの今後の展開が期待されている。



京都市経済局長 空谷俊和氏よりグランプリ（市長賞）を授与される京都芸大大学院生の滝口洋子さん



入賞者に賞状を授与するK D A 柴田献一理事長



テープカットで4日間の展覧会の幕は切って落とされた



K D A会員展の会場



京都工芸土産品組合とK D A会員とのジョイント作品のチェックが展覧会前の11月20日(金)午後6時より日図デザイン博物館で京都市伝統産業課の西口課長立ち会いのもとに行われた

第8回理事会より

- [日時] 昭和62年12月21日(月)
午後5時30分~7時30分
[場所] 蝶屋(木屋町御池上る)
[出席理事] 14名 [出席監事] 1名

「暮れも押し詰まってきた。他団体との年末のお付き合いをいくつか残すのみとなりました。K D A理事会も本年はこれが最後になります。本日はこのあと懇親会も予定されていますので要領よく進行して戴ければ幸いです」との柴田献一理事長の挨拶で始まった。

■第26回京都デザインコンペ'87の結果報告 今西副理事長

今年から新しいテーマ『きょうから、あすへー。そして建都1200年から21世紀へー。THE KYOTO』で実施した京都デザインコンペも上々の成果を上げ無事終了することができた。

この報告を補足する形で柴田理事長の発言があった。

以前から言ってきたことだが、時代の変化と共に4部門の中に包括仕切れないジャンルも生まれてきており早急にそれらに対応できる新企画を立てる必要がある。来年度のコンペの企画は4月からスタートするので、それまでに様々な部署からの意見を集め、26回続けてきたこの意義あるコンペをさらに発展させ、多くの応募があるスケールの大きなものにするよう取り組んでもらいたい。

■会員展について 熊谷常務理事

京都工芸土産品組合とのジョイント展も一応成功的うちに終了した。その後組合のほうから継続的にジョイントを続けていきたいとの希望や賛助会員になりたいとの申し出もある。

る。諸事情でまだジョイント相手が決まっていない企業からジョイントして欲しいデザイナーを名指ししてきてているところもあるので、早急に黒竹委員長を通じて調整してもらいたい。さらに、組合より、1月25日~27日まで勧業館で見本市を行うので、扇面デザインの作品を20点ほど貸して貰えないかとの申し出があった。

これに対しては、今までの経過からしても貸し出すことに異議はないのでOKしたい。額縁に関しても日図との交渉に力を貸したい。

■京都府の荒巻知事より柴田理事長に京都府中小企業対策協議会の委員再任の依頼状が届いた

これについて柴田理事長から説明があった。具体的には、五条通り南側の大阪ガス跡地再開発計画があり、デザイン面でのアドバイザーとしての参加要請があった。先頃大阪では大阪デザイン振興センターを発足させ行政の立場から積極的にデザイン政策を取り組んでいく事になった。京都府もそれらと対応できる組織作りに乗り出していこうとしているので、K D Aとしても積極的に協力していきたいと思う。

■今西副理事長より、京阪神ファッショマンスの打ち上げ会に出席して、事務局より、5年目を迎えた京阪神ファッショマンスのイベントに初回から協力しているK D Aに対し感謝状と世界の時間が判るパネル時計の記念品が贈られ、戴いてきたとの報告があった。

■K D A松の実会について〔交流ゼミナール委員会〕岡本委員長より、来年1月に開催予定の第1回松の実会の内容報告があったが、理事長の考えている内容と若干のずれがあつたため、再度内容を練り直して戴く事になった。

来年1月に予定されているK D Aサロン<新年会>には賛助会員にも多く参加していただくよう強く呼び掛けることになった。具

体的な内容は12月28日(月)に大木委員長のもとで企画される予定。

■尾崎財務担当理事より、イベントのチケット代金を未納の会員がおられるので早急に集金させていただきたい。さらにKDA年会費未納の会員は、そろそろお支払い戴けないかとのお願いがあった。

■来年にむけて柴田理事長の考えていることが述べられた。

・本年度計画でまだ終了していない事も沢山あるので計画にしたがって実行していってもらいたい。

・デザインコンペの内容練り直し。

・3月27日(日)に開催予定の第8回京都デザイン会議成功に向けて鈴鹿委員長を中心企画進行中。

・財務基盤安定にむけて会員、賛助会員増強



計画の推進。

・来年度の理事選挙の準備のため年明けには委員会を招集してもらいたい。

・より一層KDAが充実し、発展するためにも会員同志のコミュニケーションを密にする必要がある。そのためにもKDAニュース委員会、KDAサロン委員会には頑張ってもらいたい。

KDA GOLF 同好会

去る12月18日(金)KDAゴルフ同好会主催の第2回ゴルフコンペが東城陽ゴルフ倶楽部で行われました。今回はDASの山仲氏と日団の松山氏の特別応援参加があり、なごやかな珍プレー、迷プレーの交流試合が展開されました。

「へー、そんな同好会があったの、全然知らなかったわ。知らせてくれたら参加したかったのに。」とおっしゃる会員の方も多いと思います。決して隠していたのではなく、知らせる方法が無かったのです。無かったとは言えません。この様に立派な?KDAニュースがありながら、ニュース委員さんにお知

らせしなかったのが悪いのです。反省とともに、第3回からは大々的にお知らせしてゴルフ大好き会員、賛助会員の参加を募りたいと考えています。で、予告ですが、第3回コンペは1988年の4月に琵琶湖カントリーか京都東で開催予定です。我と思わん方は是非腕を磨いて期待していく下さい。詳しいことが決まりましたらまたお知らせします。

ちなみに今回の成績は〔優勝〕山仲武士
〔準優勝〕尾崎要〔三位賞〕園部正晴〔4位〕
藤田頼伯〔5位〕松山季高〔6位〕小椋輝勝
〔7位賞〕木村紀久雄〔8位〕丸尾由起子
〔9位〕本郷大田子〔BB賞〕田積司朗
〔11位〕大木ミヤ子

KDAゴルフ同好会世話人 尾崎要

年末年始の事務局休業のお知らせ

12月26日(土)から1月5日(火)までお休みさせて戴きます
皆様よいお年をお迎え下さいますように